

## あんどくりすの防災四季だより

第22回 放送日：2019.8.30（金）

パーソナリティー：あんどくりす

ゲスト：坂本 深雪 さん

テーマ：親子の間の性教育



「命を守る」という大切なことに役立つのは、  
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、  
防災・減災の方法を楽しく導きます。

助産師 坂本 深雪 さんに聞く  
どうしたら良いの？

「あかちゃんは、どうやって生まれてくるの？」

毎日の子育ての中ではぐくむ、  
「自分を守る事」の伝え方とは？



本日もスタジオに、  
東久留米市にある助産院 さかもと助産所から、  
院長の 坂本 深雪 助産師をお招きしています。

坂本さん、今週もよろしくお願ひします。

はい、よろしくお願ひします。



(※)  
さかもと助産所  
院長 坂本 深雪 助産師

さかもと助産所  
[http://www.cam.hi-ho.ne.jp/sakamoto\\_miyuki/](http://www.cam.hi-ho.ne.jp/sakamoto_miyuki/)





前は、  
災害時にお産になった場合の対処方法や、  
実は間違っているドラマの出産シーンなどを  
お話いただきました。

そもそも赤ちゃんが、  
どんなふうに産まれてくるのか？  
ということ、だれもが皆知らない。

だから、  
いざという時にどうしたら良いかわからない。  
というようなお話がありました。



# こんな風に 赤ちゃんが産まれるよ

坂本さんはお子さん向けにも、  
性教育といえますか、  
赤ちゃんがどうやって産まれてくるのかも  
教えてらっしゃるのですね？



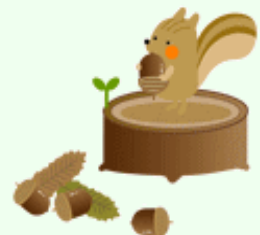
そうですね。  
助産所で産まれる赤ちゃんの兄弟たちに、

妊婦健診から一緒に、  
おなかの中の赤ちゃんの心臓の音を聞いたり、

自分の心臓の音を聞いたり。

自分の！？ (\*'▽')

そう。すごく大好評なんです。(笑)





そんなことをしながら、  
お腹の中の赤ちゃんと、  
一緒に過ごす時間を持ってもらうんですね。

そのあとで、  
陣痛が始まったお母さんのお産についてくる人も  
いますし、

すごーく立ち会いたかったのに、  
もう寝んねしちゃう子もいたりして。

ただ、急にお産に立ち会うというのは、  
びっくりしてしまうので、

準備として  
こんな風に赤ちゃんが産まれるよ。  
というお話はしています。



# 赤ちゃんの通り道

そのお話を聞いた時、  
子どもたちはどんな反応なんですか？

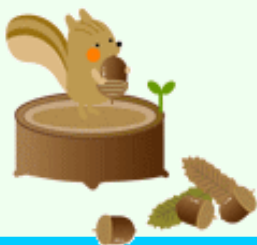


子ども達って、  
性器から赤ちゃんが産まれるって、思っていない  
んですね。

どう思っているんですか？

「赤ちゃんが産まれる」って、思っているんです。

うまれる……。(^ . ^)?





産まれる通り道が、  
大人が考える性器というよりは、

「赤ちゃんの通り道」っていう風にね、  
感じているみたいですね。

見せたくないところから産まれてくるという感じは、  
無いようなのです。



# プライベートゾーン

ただね、やっぱりあの  
「プライベートゾーン」という考え方がありましてね。

・水着で隠れている場所

あなたが

・触ってほしくない場所

それらの場所は、誰から言われても、  
触わらせないし、見せなくても良いのですよ。

そこは「プライベートゾーン」という言い方をするん  
ですよ。

と、お母さんにお伝えします。







「お母さん、赤ちゃんが産まれるところを見せて」と、  
お風呂の中で言われても

「ここはお母さんのプライベートゾーンだから、いま  
私は見せたくないわ」って、

キチンと言えるんですよね。

そうですね。  
子どもたちにとっても大事ですね。

大人に言われたら、  
何でも答えなくてはいけない、  
見せなくてははいけないと思ってしまうと、

痴漢に遭ったときなどに、自分を守れない。  
という事を良く言われますね。



# 「いやだ」を尊重する

日本でも「プライベートゾーン」について  
きちんと書かれた本が、最近出版されました。

「生きる冒険地図」(※)です。

読んでみますと、

プライベートゾーンのルール  
危険な大人はこういう人  
SOSを出す などが、

イラスト入りできちんと書かれています。



(※)生きる冒険地図

まわりに頼れる大人がいない子どもたちへ、  
1日1日を生きぬくための知恵と工夫の書。  
大人には気づきにくい、日常生活の知恵から、  
リスク回避方法まで、  
イラストをまじえ子供たちにわかりやすく工夫されている。

<https://kidsinfost.net/2019/05/21/adventure-17/>



自分のからだは自分のもの



境界をはる



←大人が100%悪い



自分のからだ・性は  
きもちにつながっている  
自分のこころを守るための  
知言説と知恵



●プライベートゾーンのルール  
水着でかめる場所  
くちびる(キスあるところ)  
月経手にさおられたり  
さあつりしない  
見せられたり見せる必要も  
絶対ない  
写真をとられたりとりはな

お金あげる  
ヒミツだよ  
だれかに言うと  
もっとコワイことあるぞ!

危険な大人  
プライベートゾーンのルールを  
守れない大人がいる



家の中・知ってる大人  
信じている大人...  
その中にも子ども  
のプライベートゾーンを  
大切にしてくれない人がいる

たくさんの大人で全カで守ります



プライベートゾーンを  
傷つけられたら  
大人に伝えて下さい  
みんなを守るため  
大人が協力してくれます



近よるな!!  
...警告...  
...児童相談所...  
...父を祭壇でみんなの安全を守る



毎日たくさんの子どもが傷つけられている



-NG-

●プライベートゾーン

好きな人・恋人・友だちでも  
自分のこころが「イヤ」と思ったら  
「やめるイヤ」を  
伝えてみる

リベンジポルノ

SNSにアップ  
された...  
自分では消せない



写真・重カ画  
とらない とらせない  
SNSにアップしない

写真をとった  
相手のカメラの中に  
ずっと残る



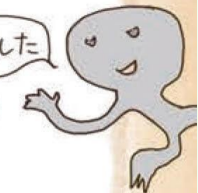
あつて  
もらえない時  
ひじりて  
小返す=  
相談をして下さい

「リベンジポルノ」で  
検索すると  
助けてくれる相談先  
が出てくる

ネットに  
流れた写真や  
重カ画は 世界中の人がみ



消した  
ウソです



このようなことは、  
もっと知らせてくれたら良いのと思うのですが。

そうですね。

ただね、「プライベートゾーン」を  
知らせる、教えることだけでは、

十分ではないんです。

いやだ、ノー、NO、ということを、

「尊重される」

ということが、とっても大切なんです。



# 「いやだ」を話し合う

性教育 性教育と言って、  
いろんなことを 教えよう 教えよう 教えようって。

お母さんたち、お父さんたちは、  
危機感から、  
必死に知識を伝えようとするんです。



実際には、  
自分の毎日の子育ての中から、

・いやだという事を言える

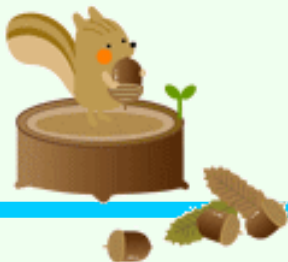
いやだと言ったことに対して、  
・じゃあ、どういう風に解決していくか。



ということをお互いに、

大人と子どもときちんと話し合って、  
次のステップに行く。

そういうことの方が、とっても大事なんです。





例えば避難所などでは、  
たくさんのボランティアさんや、  
知らない大人が出入りします。

そのような状況の中で、  
性被害を防ぐことに生きてきます。

子ども達が被害を訴えた時に、

「あんたがそんな所にいたからでしょう！」とか、

「そんなことを言ったらいけません。」ではなく、

「良く言ってくれたね。」と、言ってください。

「じゃあ、どうしようか？」というような、  
解決策の方向に繋がっていきます。



# 被害者・加害者に ならないために



大学生向けに、「性的同意を必ず取りましょう」ということで、京都市男女共同参画推進協会が、関西の大学生有志と一緒に活動をしています。（※1）

（※1）

「性的同意」とは、性にまつわることについて、あいまいにせず、相手の意思を互いに確認すること。として、大学生たちが話し合い、考え、専門家へのインタビューなどを通じて学んでいる。

チェックリストや様々な場面での例などを、対話形式でたどり学べる、ハンドブックが発行されている。

<https://www.wings-kyoto.jp/association/publications/>



# 性的同意を取る

はい、そうですね。  
性的同意という言葉ですと誤解されやすいのですが、

- ・相手の嫌なことをしない

相手が嫌なことがあったら、

- ・それを嫌じゃない方法で解決していく。という、

そのようなことの 話し合いの過程 というふうに思って、

育児の中でも

活かしていただけたら良いなと思います。

同意を取るという事は、お互いの生きる力にも繋がってきますよね。





親だとやっぱり、  
「〇〇やりなさい！」と。

「いやだ」と言っても、ただ  
「とにかく、やりなさい！」  
などと言ってしまいがちな場面があります。

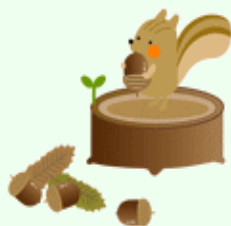
その「NO」にも、

「なぜいやなの？」  
「そういうふうにいるのね。」など、

日常での言葉かけも、とても大事ということに  
なってきますね。

交渉力ですね。(^.^)





もっとお聞きしたいところですが、  
お時間が来ました。

本日は、  
坂本助産所 坂本 深雪さんにお越しいただきました。

どうもありがとうございました。



(TEXT/はしも)